

Pool Accessories

プールアクセサリ

快適なプールライフを
お届けします

水中運動マシン アクアジム 81
プール洗体シャワーシステム 87



プールアクセサリ



ダイレオ・アクアジムとは

水中で働く浮力を用いて、陸上では負担がかかる運動でも無理なくできるトレーニング機器です。
単に身体への負担が軽くなるだけでなく、水の抵抗を利用することで効率よくエネルギーを消費でき、筋力アップ・肥満の解消、更には腰痛や肩こりの改善などの効果も期待できます。

アクアジムのコンセプト

水中運動と聞いて最初にイメージできるのが水中でのウォーキングではないでしょうか？
水中ウォーキングやアクアピクスは水の抵抗や浮力、水圧、水温を活かし関節にやさしく特に高齢者や女性にとって最適な運動といえます。
そんな水中運動の良さを最大限に活かし、開発した運動器具がダイレオ・アクアジムです。
アクアジムは様々な運動パターンから選んで楽しく健康的に水中運動をサポートいたします。

アクアジムの特徴

- 浮力が筋肉・関節・支持器官にかかる重力を軽減するので、身体を傷めずに筋力トレーニングができます。関節の可動域も広がります。
- 水の抵抗により等速性の運動となり、急激な動きは出来ないため筋肉や関節を傷めません。
- 陸上運動の2倍の有酸素運動が期待できます。
- 抗重力筋のバランスが整えられ、正しい姿勢を保つことが楽になります。
- 血行が良くなるので、冷え性やむくみが改善されます。
- 水温の刺激で自律神経系の鍛錬と脳のストレス耐性向上、筋肉疲労物質の除去とリラクゼーションの効果が期待できます。

納入実績



灘浜ガーデンバーデン

兵庫県神戸市の健康増進施設。こちらの施設ではプール、ジャグジーやサウナ、ジェットバスなど様々な中でひとときを目立つのがアクアジム。なんと納入数全国No.1で合計9機種設置いただき大変好評いただいております。



たんぽぽ温泉デイサービスー宮

愛知県一宮市にオープンした総面積1300坪の超大型デイサービス。カジノや温泉、ランチバイキングなどさまざまなエリアの中でも人気のアクアジムを配置したリハビリプール!!



コパンスイミングスクール瑞穂

岐阜県瑞穂市のスイミングスクール。セカンドプールにアクアジムを設置して年齢・性別問わず活用いただいております。



デイサービスセンターしおかぜアクアジム

岡山県倉敷市にオープンしたリハプールが主役のデイサービス。10m×4m×水深1.1mのプールにアクアジム4台を設置いただきました。

その他実績

- | | |
|------------|-------------------------|
| ● 香川県高松市 | ループしおのえ……………8台 |
| ● 大阪府河内長野市 | 関西サイクルスポーツセンター……………4台 |
| ● 大阪府大阪市 | 舍利寺リハビリテーションセンターボシブル…4台 |
| ● 愛知県豊田市 | トヨタ拳母温泉おいでんの湯……………4台 |
| ● 大阪府堺市 | デイサービスくみのき苑ゆらら……………4台 |

- | | |
|----------|------------------|
| ● タイ | フィットネス施設……………8台 |
| ● 中国 | 病院内リハビリ施設……………2台 |
| ● シンガポール | 集合住宅内プール……………4台 |

その他国内・海外共に多数実績あり

アクアジム施工手順書

アクアジム固定用アンカーの施工例

施工方法		※使用始めのトリガー3〜4回分は主剤、硬化剤の混合が不均等で強度を発揮しませんので、必ず捨ててください。	
1	母材穿孔		ボルト固定位置にドリルで孔あけをします。
2	孔内清掃		ブロアーとブラシで交互に孔内を清掃します。 下記の1〜5の順で必ず行ってください。 【重要】1.ブロアー 2.ブラシ 3.ブロアー 4.ブラシ 5.ブロアー
3	樹脂注入		【注意】注入前にあふれた樹脂がアンカーボルトと六角穴付ボルトとの隙間に入りこまない様、あらかじめ養生テープ等でシールを行っておいてください。 空気を巻き込まないように孔底より注入して下さい。 注入量：約12cc (孔底より35mm) アンカー1本当り
4	ボルト埋込		アンカーに付着している油分等をきれいにふき取った後、 静かに、まわしながら 押し込んでください。 樹脂があふれた場合は可使用時間内に樹脂をふき取って下さい。
5	硬化養生		養生シールをはがし、硬化時間内はボルトに触れないで下さい。 アンカーボルトと下穴の隙間部分にコーキングを行ってください。

可使用時間と硬化時間とは？

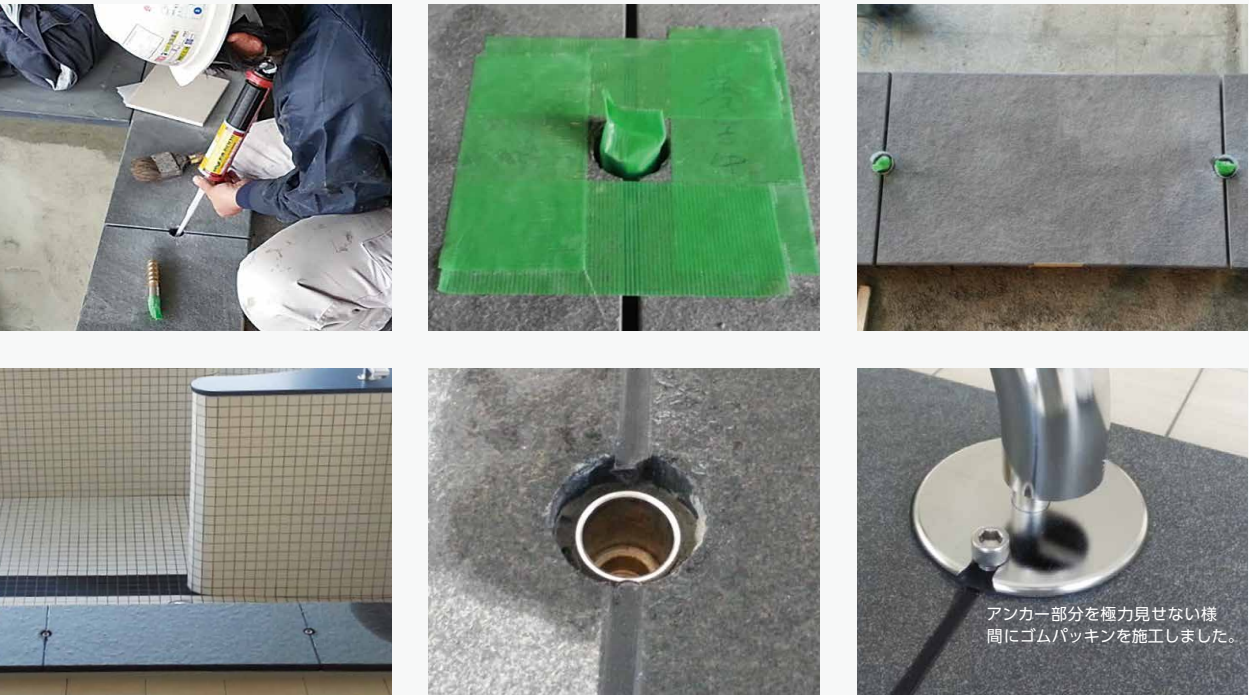
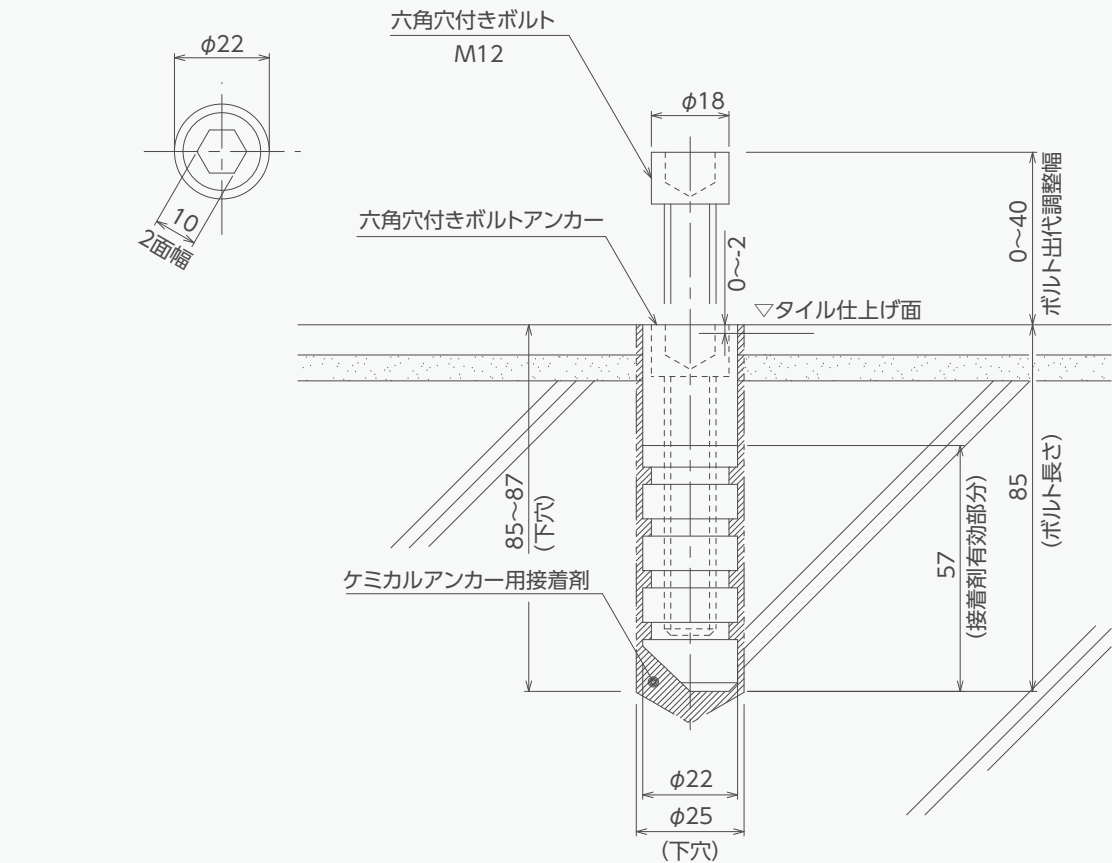
可使用時間	樹脂注入開始から樹脂に流動性がなくなるまでの時間です。この時間内にボルトを挿入して下さい。						
硬化時間	荷重をかけられるまでの時間です。可使用時間から硬化時間の間はボルトに触れないで下さい。						
温度	−5℃	0℃	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
可使用時間	5時間	2時間	1時間	35分	10分	3分	1.5分
硬化時間	8時間	4時間	3時間	1.5時間	30分	25分	10分

アンカー設置工事（一例）

22mmのドリルを使用し、シンダーコンクリートに穴をあけ、
穴の中にある「セメントカス」を除去し、ケミカルを注入。
完全硬化までは養生テープを貼り、放置。
硬化後は、石割部分の目地施工にアンカーが干渉しない様に養生を行う。

※石貼下地は全てセメント材によることから、材令基準の28日間を目安に
硬化時間を計り、アンカーの固定強度を上げること。

アクアジム固定用アンカーボルト



アンカー部分を極力見せない様に
間にゴムパッキンを施工しました。

浴槽昇温システム

水位制御システム

プールアクセサリ

ミキシングバルブ

循環金物

温浴アトラクション

温浴アクセサリ

モーターバルブ

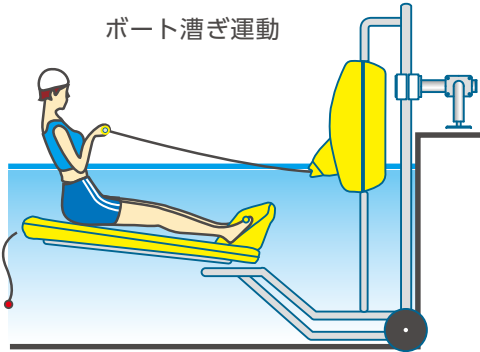
工場給湯システム

アクアボート

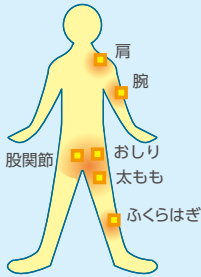
ボート漕ぎ運動

水深
900~
1100mm
タイプ

標準仕様でシート下部に
脚付き(右図参照)



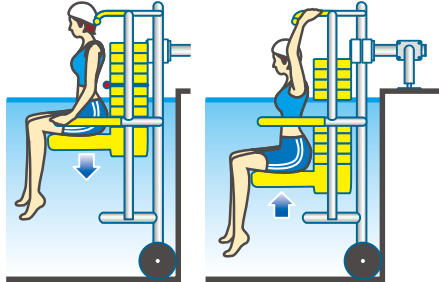
運動部位



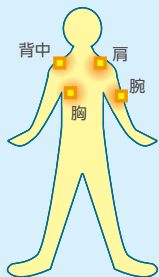
アクアプーラー

主に上半身を使った上下運動

水深
900~
1100mm
タイプ



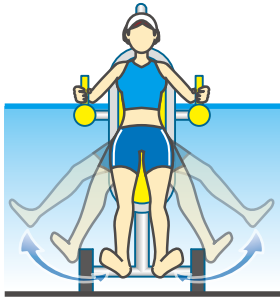
運動部位



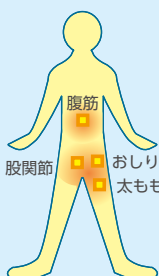
アクアスリム

主に下半身を使った水抵抗運動

水深
900~
1100mm
タイプ



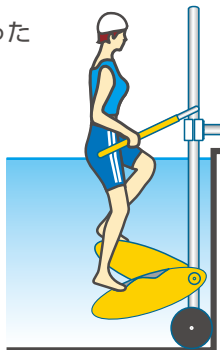
運動部位



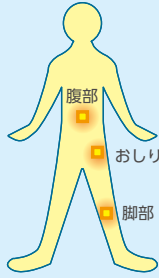
アクアステップ

主に下半身を使った
足踏み運動

水深
900~
1100mm
タイプ



運動部位

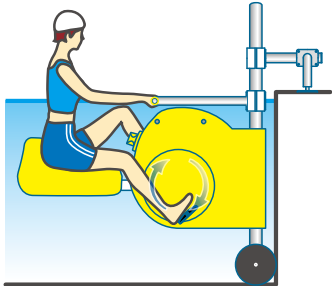


アクアバイク

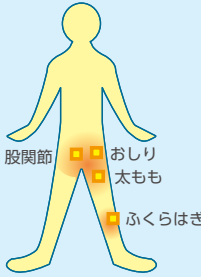
シンプルな自転車運動

水深
900~
1100mm
タイプ

標準仕様で前ハンドル付き
(右図参照)



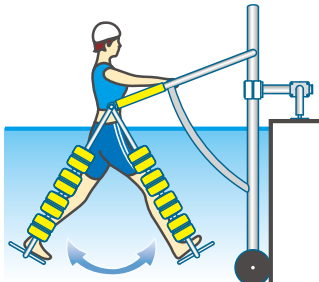
運動部位



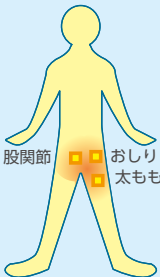
アクアウォーク

水の抵抗を活かした前後開脚運動

水深
900~
1100mm
タイプ



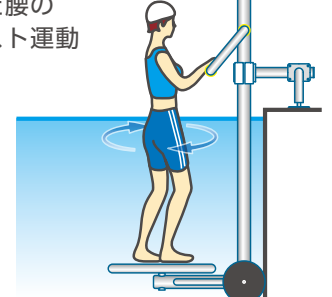
運動部位



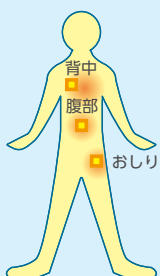
アクアツイスター

足元の回転盤を
使った腰の
ツイスト運動

水深
900~
1100mm
タイプ



運動部位



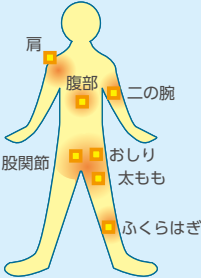
アクアクライム

足元のペダルを
使った昇降運動

水深
900~
1100mm
タイプ



運動部位



注意事項

- ※人工関節・人工骨頭の方のご利用は必ず指導員の指示に従ってご利用下さい。
- ※アクアジムは遊具ではなく運動器具です。取扱説明看板の使用方法にしたがって安全に正しくご利用下さい。
- ※アクアジムの固定方法はプールサイドにケミカルアンカー 2点での固定が基本となります。既存施設などに取付の場合は防水層の深さなどに十分注意の上、防水層を破らないように施工を行って下さい。詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。

浴槽昇温システム

水位制御システム

プールアクセサリ

ミキシングバルブ

循環金物

温浴アトラクション

温浴アクセサリ

モーターバルブ

工場給湯システム

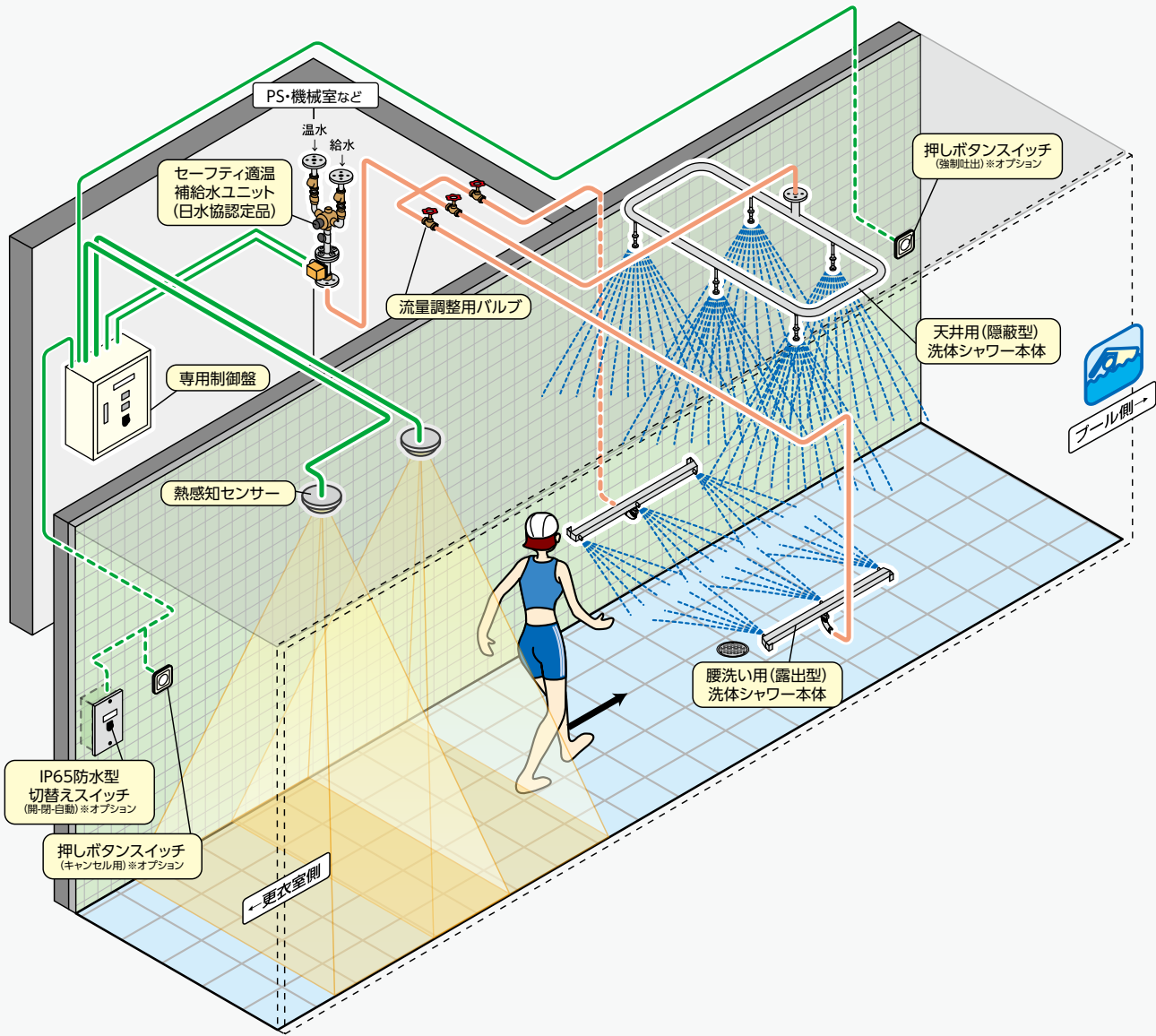
浴槽昇温システム
水位制御システム
プールアクセサリ
ミキシングバルブ
循環金物
温浴アトラクション
温浴アクセサリ
モーターバルブ
工場給湯システム

プール洗体シャワーシステム

学校やプール施設ではプール入水前にシャワーを浴びなければならない決まりがある場合があります。これはプール内での衛生面を考慮するために法令で確立されています。ダイレオではシャワーブースに近づく自動でシャワーが吐出し自然に浴びることができるシステムを採用しています。

※写真はイメージです。

プール洗体シャワーシステム



洗浄設備等

東京都福祉保健局「水泳プールの衛生管理について」より抜粋

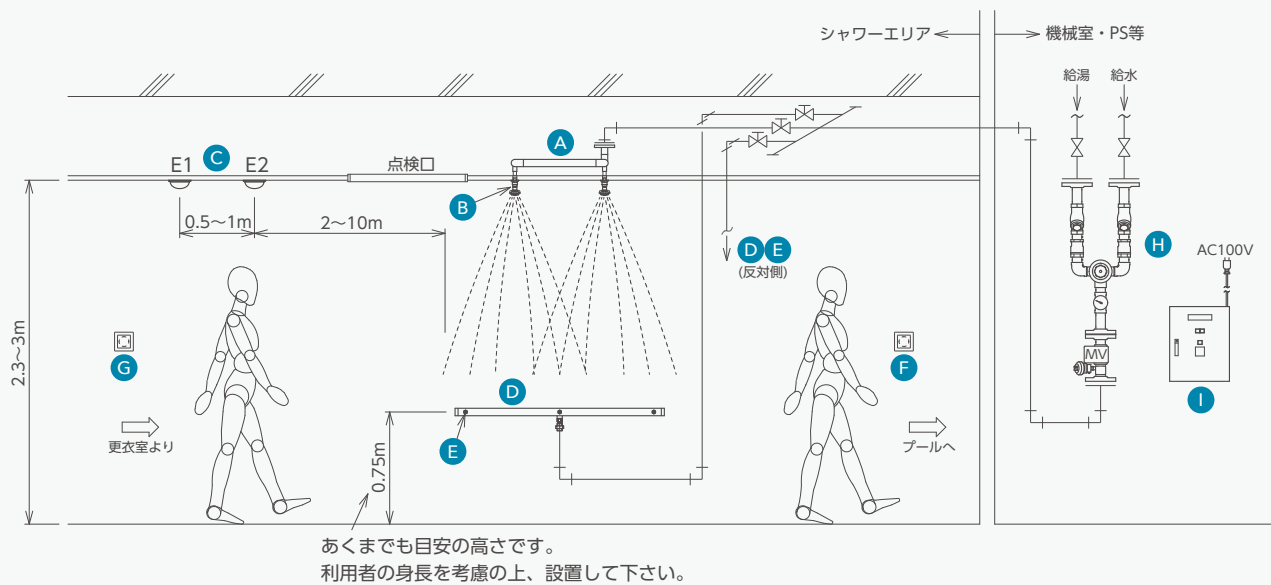
- 1 水泳後又は水浴後に身体を清浄にするためのシャワーを適正な位置に設置すること。
なお、屋内プールにあっては、当該シャワーには温水を使用すること。
- 2 プール水の汚染を防止するため、足洗い場及び腰洗い槽（以下「足洗い場等」という。）又はシャワーを更衣所及び便所から貯水槽に至る途中に設置すること。なお、当該シャワーは、温水を使用するなど、洗浄水の温度を適温とし、かつ、洗浄水を常時放水する機能、自動的に放水する機能又はこれらと同等の機能により水泳者が必ず全身を洗浄できるものとする。

共通基準に規定するシャワーは、水泳者がプール等の利用後に身体を清浄にするためのものである。
シャワーの使用水については、措置基準に規定しているので、これに適合する設備を設けること。
また、循環給湯設備を用いる場合には、レジオネラ症防止対策の措置を講じること。

プール特定基準に規定するシャワーは、身体に付着した汚染物をプール本体に持ち込ませないためのものである。
シャワーの使用水については、措置基準に規定しているので、これに適合する設備を設けること。なお、シャワーの排水設備は、十分な排水能力を有するものを設けること。
また、循環給湯設備を用いる場合には、レジオネラ症防止対策の措置を講じること。
足洗い場等は、体に付着した汚染物をプール本体に持ち込ませないためのものである。なお、足洗い場等の排水設備は、十分な排水能力を有するものを設けること。

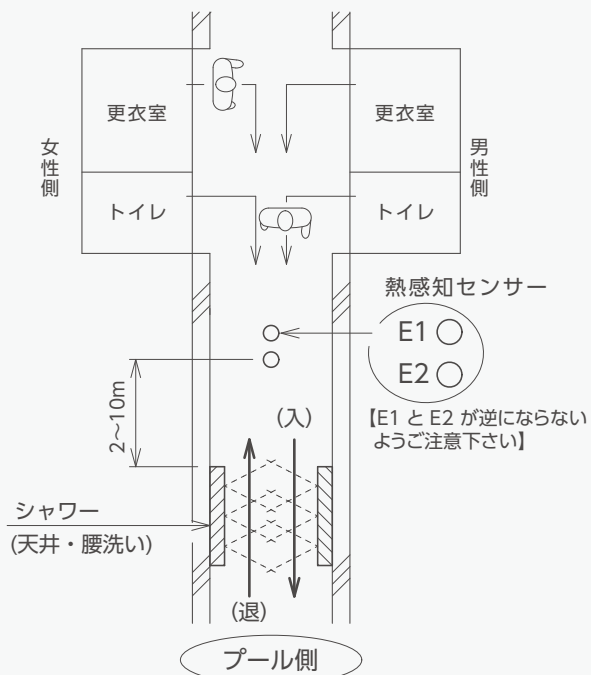
浴槽昇温システム
水位制御システム
プールアクセサリ
ミキシングバルブ
循環金物
温浴アトラクション
温浴アクセサリ
モーターバルブ
工場給湯システム

プール洗体シャワーシステムフロー図



- A 天井シャワーパイプ(隠蔽型)
- B 天井シャワーノズル(広角吐出・首振型・防滴機能付)
- C 熱感知センサー
E1: 吐出用
E2: キャンセル用
- D 腰洗いシャワーパイプ(露出型・左右一対式)
- E 腰洗いシャワーノズル(広角吐出・角度固定型)
- F 押ボタンSW(吐出用) ※オプション
- G 押ボタンSW(キャンセル用) ※オプション
- H セーフティ適温給湯ユニット
- I 専用制御盤

設置平面図(例:両方通行型)



システム概要

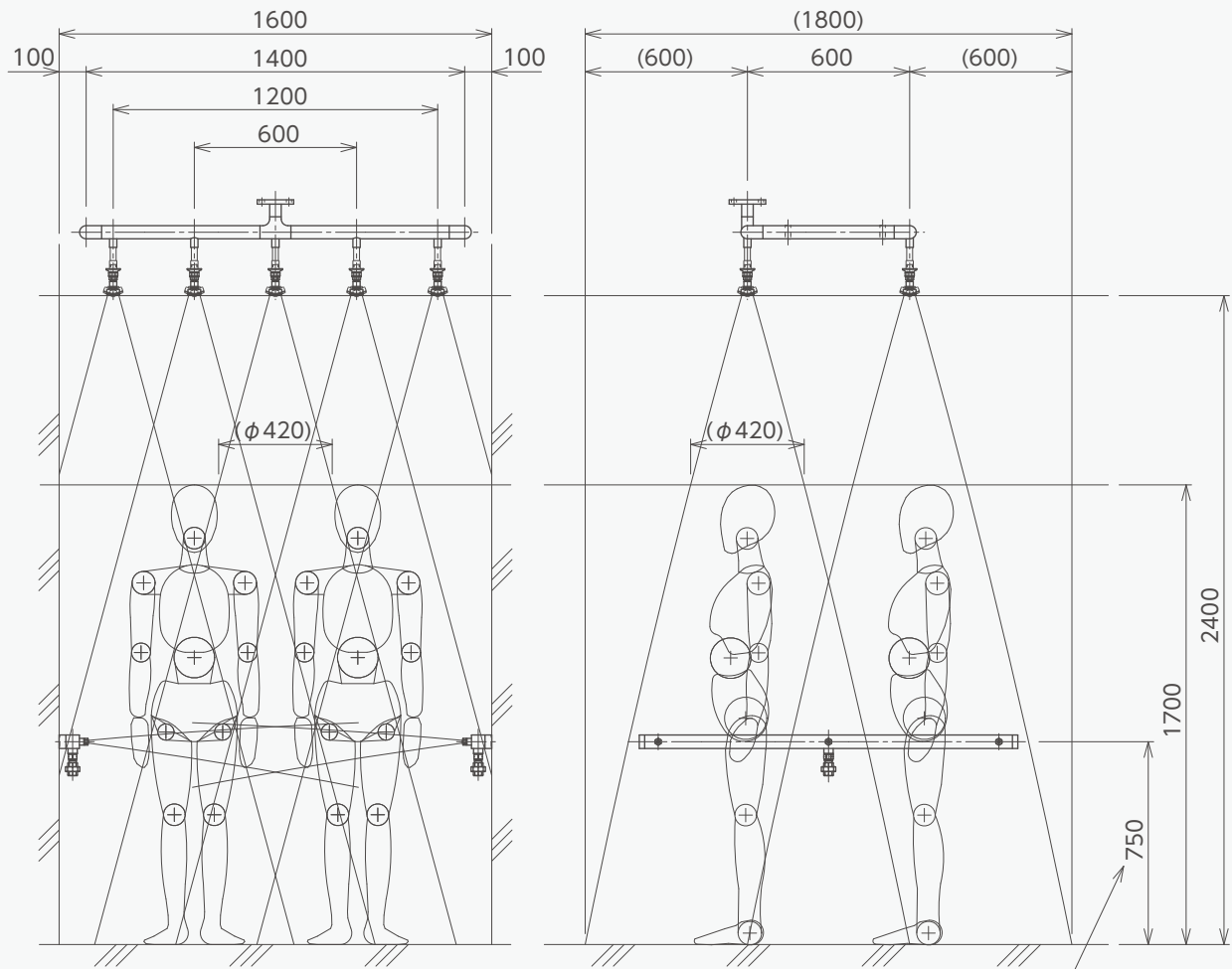
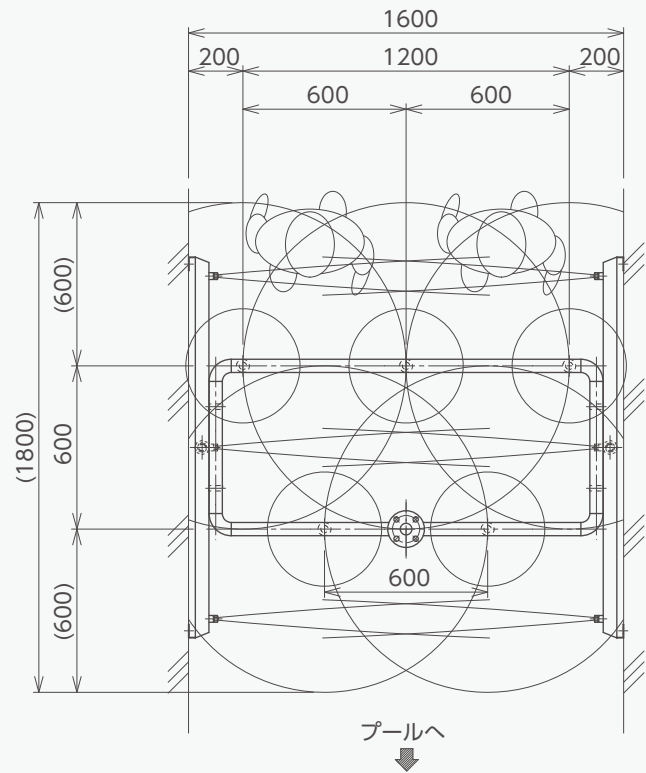
- ・ダイレオ プール洗体シャワーシステムは、熱感知センサー (C) で入場者を感知すると、セーフティ適温給湯ユニット (H) から設定された適温水 (30~40℃) が天井シャワー (A B) 及び腰洗いシャワー (D E) より吐出され、設定された時間後、自動的に止まります。
- ・センサーは施設の導線に合わせて「一方通行型」「両方通行型」の2タイプがあります。

一方通行型 →	プールの入口と出口が別々にある施設で使 用します。吐出用の熱感知センサー (C E1) を1つ設置し、入場者を感知すると一定 時間シャワーが出ます。
両方通行型 ↔	プールの入口と出口が同じ施設で使 用します。(退出時にもシャワーの下を通過する施 設は)熱感知センサーを吐出用 (C E1) と キャンセル用 (C E2) の2つを設置し、プー ルからの退出者を最初に (E2) が感知する事 で (E1) の機能を無効にし、シャワーが出 ない状態にします。

- ※オプション機能として、シャワーエリアの入口側・出口側に吐出用もしくはキャンセル用の押ボタンSW (F G) を取付ける事も可能です。
- ※設置条件や使用条件等をご提示いただきましたら、弊社にて検討の上、回答いたします。
- ※詳細項目および不明な点がございましたら、弊社までお問合せ下さい。

シャワーパターン参考図

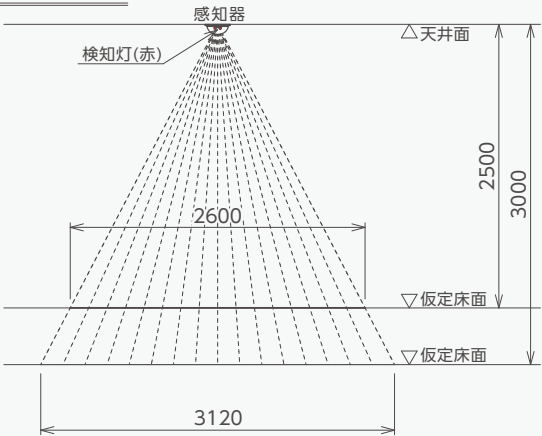
※各ノズル圧力:0.1MPa時のシャワーパターン参考図です。



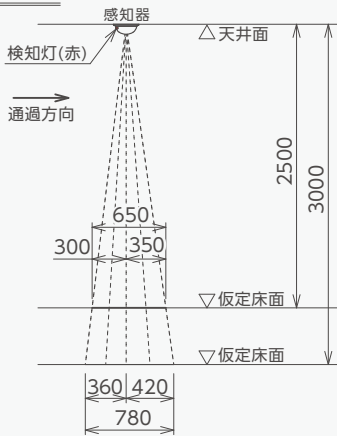
あくまでも目安の高さです。
利用者の身長を考慮の上、設置して下さい。

熱感知センサー 検知エリア及び設置説明図

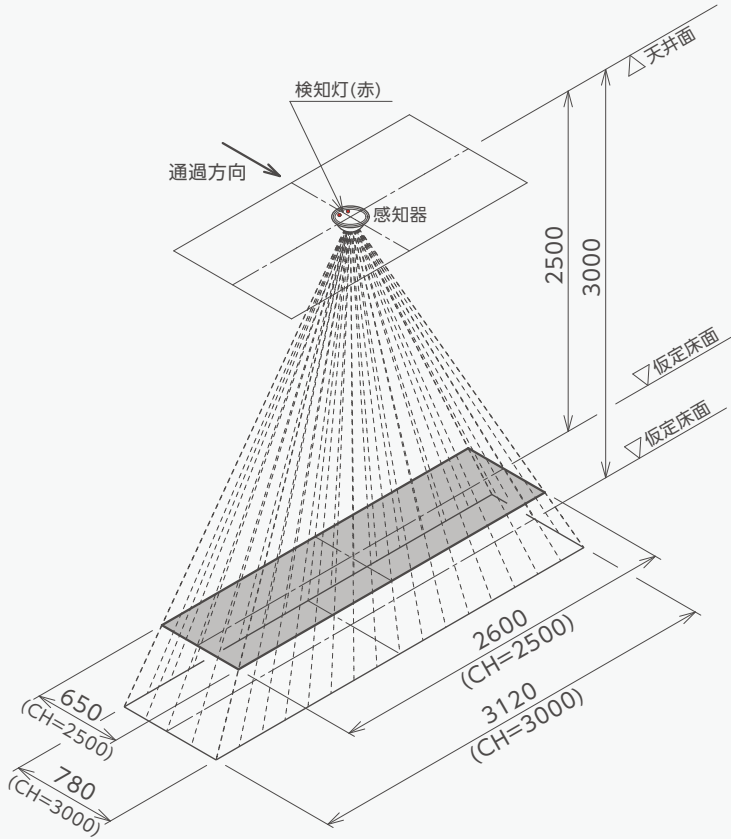
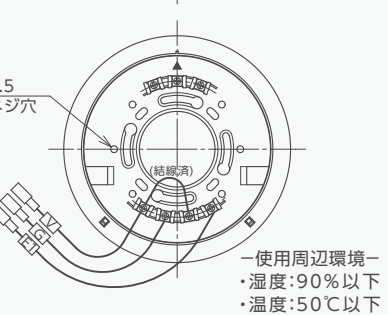
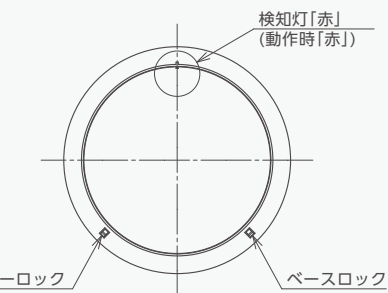
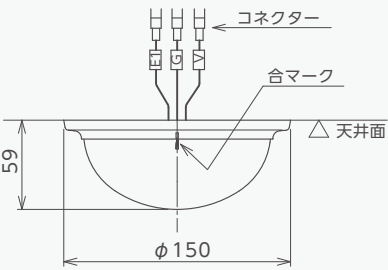
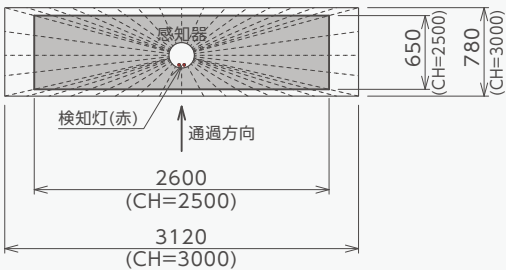
検知エリア(長辺)



検知エリア(短辺)



検知エリア(平面)



■ : CH=2500
□ : CH=3000

※熱感知センサー取付位置下地には取付ネジで堅固に固定できる様、仕上材裏面に補強材を取付けて下さい。
※逆方向取付けでも機能的には問題ありません。検知エリア内に障害物(壁等)が有る場合は、検知エリアは遮られます。

施工に關しての留意点

1.天井シャワーについて

- 天井シャワーは隠蔽型です。シャワーパイプとシャワーノズルをつなぐ接続管は現場にあった長さのものをご用意下さい。吊込み・配管接続等は現場施工の対応となります。
- 天井シャワーの隠蔽部分は季節によっては結露現象が見られますので、必ず防露施工をお願いいたします。
- 給湯の発停時にウォーターハンマー現象で配管に振動が発生しますので、天井仕上材と配管が接触しない様に施工して下さい。また、吊込みバンドと配管の接触面には絶縁材を巻いて下さい。
- 天井シャワー付近に点検口を設けて下さい。

2.腰洗いシャワーについて

- 腰洗いシャワーは露出型です。埋設型あるいは打込型に仕様変更される場合は現場で対応願います。

3.天井シャワー・腰洗いシャワーのシャワーノズルについて

- 各シャワーにはシャワーノズルが付属しています。

天井シャワー	[SHW-10LB2]5ヶ所
腰洗いシャワー	[SH2-19]3ヶ所×2台(左右) → 6ヶ所

4.セーフティ適温給湯ユニットについて

- セーフティ適温給湯ユニットは屋内設置型です。
- セーフティ適温給湯ユニットの選定には、各シャワーノズルに0.1MPa以上の圧力の確保を必須条件として下さい。供給圧力が低いとシャワーの勢い(特に腰洗いシャワー)が弱くなりますので、ご注意下さい。また、設置場所はメンテナンスを考慮し出来るだけシャワー付近が理想的です。
- セーフティ適温給湯ユニットの選定は、各シャワーノズルへの圧力値の他に、給湯・給水圧力、配管長、配管径、使用するシャワー給湯量などの条件で異なりますので、必ず弊社までお問い合わせ下さい。
- 一次側配管のできるだけユニット近くに必ずメンテナンスの為の仕切弁を設置願います。

5.熱感知センサーについて

- 熱感知センサーの感知高さは2.3~5mですが、シャワーブースの高さは2.4~2.6mの範囲が理想です。尚、センサー周辺環境が湿度90%・温度50℃を超えたり、太陽光等が直接当たると誤作動の原因となりますのでご注意下さい。
- 熱感知センサー周辺は湿度が高い為、設置場所周辺部にシールを施工願います。
- 熱感知センサーと天井・腰洗いシャワーまでの間隔は平均2~10mが適正範囲です。感知後、シャワーノズルから適温水が吐出するまでの遅延時間はタイマーで調整できます。

6.専用制御盤について

- 専用制御盤は屋内設置型です。
- 専用制御盤BOX(標準品)の外観寸法は W400×H500×D200(mm) です。
- 制御内容に自動・手動・遠隔操作と異常高温セーフティシステムが組込まれています。

7.プール洗体シャワーシステムについて

- 一方通行型と両方通行型の2タイプがありますので、現場の状況に合わせて選択して下さい。

一方通行型	プールの入口と出口が別々にある施設で使用します。
両方通行型	プールの入口と出口が同じ施設で使用します。 (退出時にもシャワーの下を通過する施設)

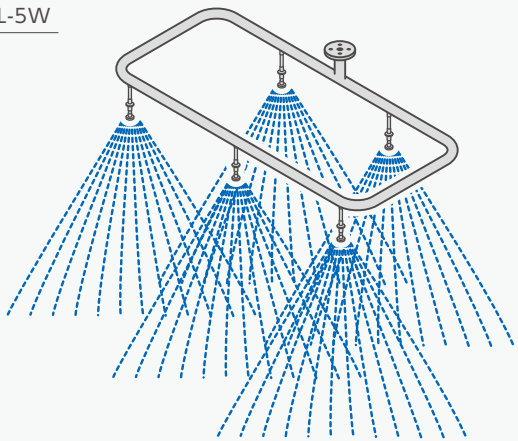
補足事項

- ここまでの「施工についての留意点」以外に不明点・問題点がある場合は、設置条件等をご指示下さい。弊社にて検討の上、提案書等にて回答させていただきます。

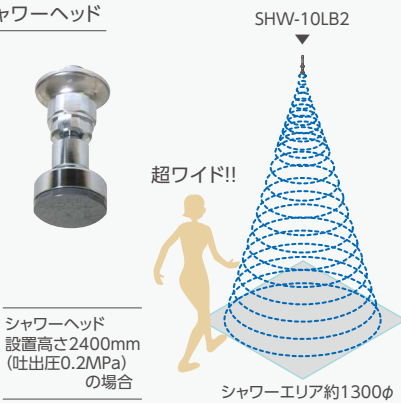
浴槽昇温システム
水位制御システム
プールアクセサリ
ミキシングバルブ
循環金物
温浴アトラクション
温浴アクセサリ
モーターバルブ
工場給湯システム

天井シャワー

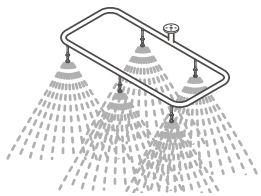
TSL-5W



天井用シャワーヘッド



天井用(隠蔽型)防滴弁付

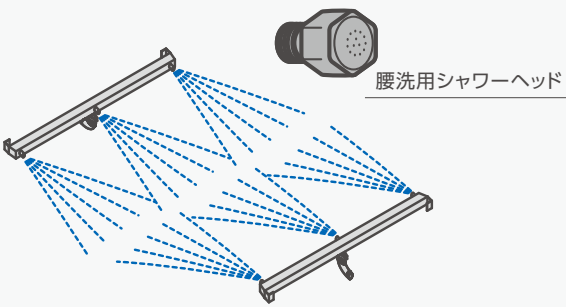


型式 TSL-5W
シャワーヘッド(SHW-10LB2)×5個付属

天井シャワー用シャワーヘッド

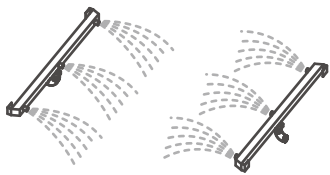
型式	接続	流量(0.2MPa時)
SHW-10LB2	PJ 15A	26.3L/min

腰洗シャワー



腰洗用シャワーヘッド

腰洗用(露出型)(左右1組)防滴弁付



型式 KSL-3R/L

シャワーヘッド(SH2-19)×各パイプ3個付属

天井シャワー用シャワーヘッド

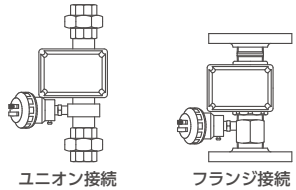
型式	接続	流量(0.2MPa時)
SH2-19	15A 平行オネジ	7.5L/min

プール洗体シャワー用 制御盤

専用制御盤	型式 WT-A	型式 WT-B
	 一方通行型	 両方通行型
W400×H500×D200		

※洗体シャワーの制御には別途、熱感知センサーも必要です。
※熱感知センサー接続用ケーブル付き ※屋内設置タイプ ※AC100V専用

直圧式セーフティセンサーバルブ



ユニオン接続

フランジ接続

型式		口径(A)	開閉時間(秒)
ユニオン接続	フランジ接続		
SCV-15DC		15	1~2
SCV-20DC		20	1~2
SCV-25DC		25	1~2
SCV-32DC	SCV-32FDC	32	2~3
	SCV-40FDC	40	2~3

※DC24V専用 ※出口側には温度センサー(pt-100Ω)が付属しています。
※適温給湯ユニット、シャワーコントロールユニット通過センサーは別売です。
※屋内設置タイプ

セーフティ適温給湯ユニットについては上記のSCVシリーズとE2F-OOF/XL-OOFを組み合わせて選定して下さい。

熱感知センサー



一方通行型

型式 IR-33



熱感知センサー1ヶ
+専用コネクター付き



両方通行型

型式 IR-33-2



熱感知センサー2ヶ
+専用コネクター付き

交換用センサー
本体のみ

型式 IR-33M

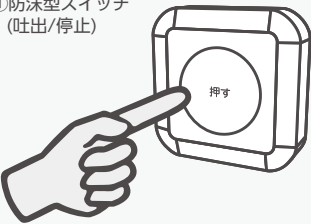


熱感知センサー本体1ヶ

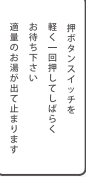
※プール洗体シャワーの制御には別途、洗体シャワー用制御盤も必要です。
※屋内設置タイプ

操作スイッチ

①防沫型スイッチ
(吐出/停止)



②取扱銘板

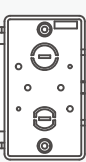


型式	製品内容
WS6531S	①②③④のセット
WS6531	①③④のセット
6531	①防沫型スイッチ
SIGN-WS6531	②取扱銘板

③埋込ミニ
ぬりしろカバー



④埋込ボックス



遠隔操作スイッチ



型式	SSS-3
付属品	埋込ボックス及び埋込ミニぬりしろカバー

遠隔操作スイッチの操作内容

シャワーバルブ
開 閉 自動



シャワーバルブが常時「開」状態になりシャワー吐出が行われます

シャワーバルブ
開 閉 自動



シャワーバルブが常時「閉」状態になりボタンや熱感知センサーの制御でもシャワーが吐出されません

シャワーバルブ
開 閉 自動



自動制御状態になりボタンや熱感知センサーでシャワーの制御が出来るようになります

浴槽昇温システム
水位制御システム
プールアクセサリ
ミキシングバルブ
循環金物
温浴アトラクション
温浴アクセサリ
モーターバルブ
工場給湯システム